

# 図書館だより

令和5年4月14日  
明和中学校図書館



## 入学、進級おめでとう

新学期がはじまりました。もう新しいクラスには慣れたでしょうか？ まもなく図書の貸出を開始します。1年生にはオリエンテーションを実施しますが、2年生、3年生も、図書館のきまりについてももう一度おさらいしましょう。大型連休の前には1人5冊までの貸出をします。今年も良い本との出会いがたくさんありますように！

## 図書館利用のきまり

### ◇ 開館時間

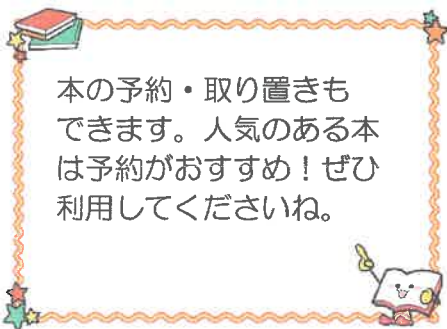
9:15~16:45

### ◇ 貸出冊数

一人2冊まで

### ◇ 返却期限

借りた日から一週間



## 貸出開始日について

2年生・3年生

4月17日（月）から

1年生

オリエンテーション後から

## 図書館との約束

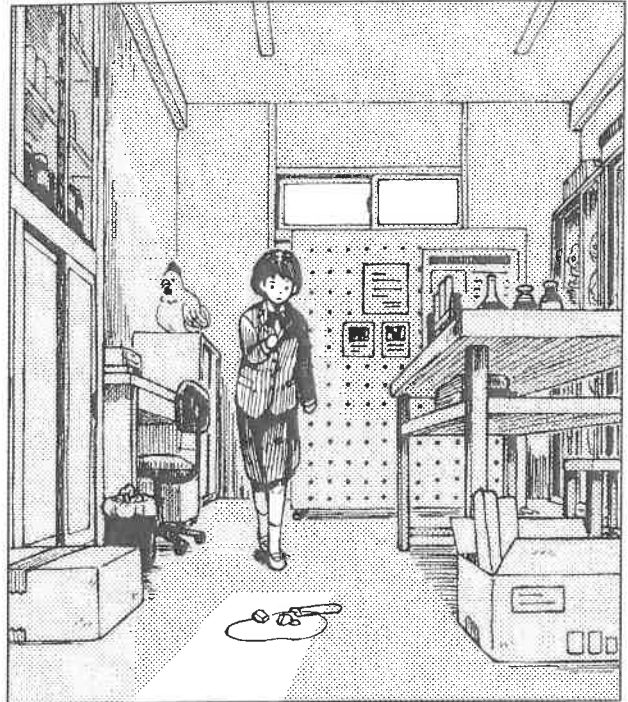
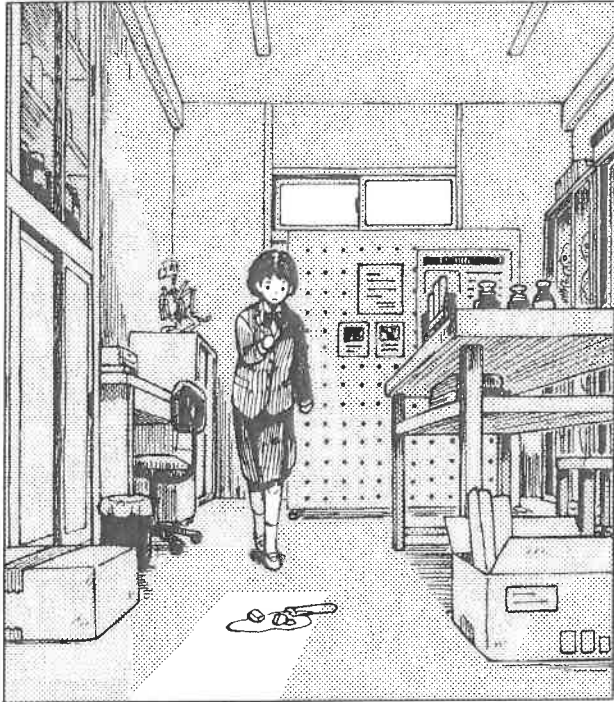
- ◆ 図書館にはスリッパを脱いで入ります。スリッパは、つま先が廊下を向くように揃えて並べます。
- ◆ 図書館内では静かに過ごします。他の人の迷惑にならないようにしましょう。
- ◆ 本は大切に扱い、読んだ後は元の本棚に戻して退室しましょう。
- ◆ 使った机や椅子も、元通りに片付けて帰りましょう。消しゴムのカスもゴミ箱へ！
- ◆ 本の又貸しは絶対にやめましょう。万が一、紛失した場合は借りた人の責任になります。
- ◆ 借りた本を失くしてしまった、という時は、速やかに担任の先生か司書に報告しましょう。



## 名作まちがいがし

### 『時をかける少女』

筒井康隆



答えは図書館で！

#### 作品の概要・解説

中学三年生の和子は、放課後に同級の吾朗、一夫と共に理科室を掃除していました。物音を聞いて、一人で隣の実験室に入ると、怪しい人影を目撃し、床にこぼれていた液体のにおいを感じ、気が失ってしまいます。後日、和子は事故に遭い、命の危険を感じたとたん、前日に時間が戻る不思議な体験をしました。困った和子が吾朗と一夫、理科担当の福島先生に相談すると、先生から自分が「時間跳躍」などの超能力を使ったのではな

いかと言われます。原因が実験室の出来事にあると感じた和子は、あの日に戻ります。そこで思いがけず、一夫に出会い……。SF的要素と淡い恋を描いた青春小説。一九六〇年代の作品で、今読むと少し古い表現がありますが、何世代にもわたってメディア化されている人気作です。著者の筒井康隆（一九三四年〜）は小説家のほかに劇作家、俳優をしていて、SFや実験小説、純文学などの幅広いジャンルの作品を執筆しています。『家族八景』『残像に口紅を』『文学部唯野教授』『わたしのグランパ』などの多数の作品があります。

※『時をかける少女』はKADOKAWAから刊行されています。